

## ヘッドセットインターフェース作成

JA1WOB 齋藤

240の忘年会でパソコンのSKAYPE用ヘッドセットをお土産に頂きました。仕様を調べてみると、Windows98で使用するヘッドセットと書いてありました。マイクはコンデンサーマイクでした。マイクの3Pプラグの回路図があればいいのですが残念ながら、有りませんでした。

通常考える構造では、先頭が信号入力、中央が電源、根本がアースと考えてバラ配線で実験する事にしました。

本体の回路図は数年前のCQの別冊付録の中に、携帯電話用のヘッドセットマイクでFT-817用のインターフェース作成の記事があったので、これを参考に作成する事にしました。

インターフェースのケースとマイクジャックは、LANのモジュラーコネクタがあるプリンターサーバーを数年前にハードオフで、300円で見つけたものがありましたから、これを使用する事にしました。

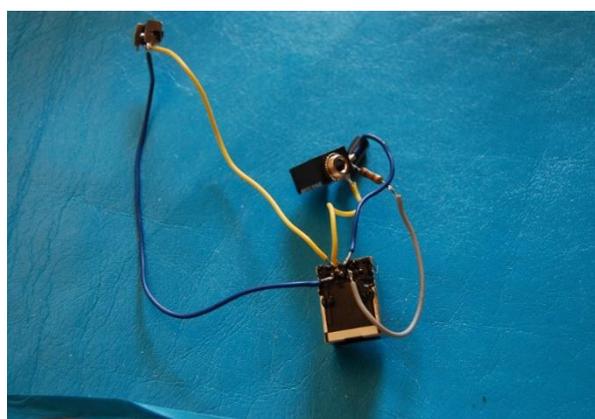
プリンターサーバーの中身は下記の写真の様な基板と、USB、LAN、電源などのコネクタがありました、不要な基板とUSBコネクタと電源は取り外しました。



次に、回路図を基にバラ配線してみました、このバラ配線でFT-857のマイクジャックに接続して、別の無線機でモニターしたてみました。

内容は分かりますが、音が歪んで了解度が良くありませんでした。

コンデンサーマイクに供給する電圧が適正で無いと考えて、抵抗値を変更してみました、大きな変化は有りませ



んでした。

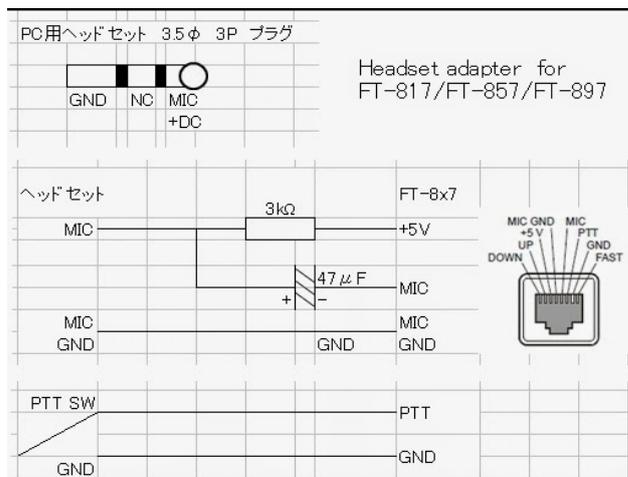
インターネットで検索すると、マイクの  
エレメントとみ無線機本体の間にコンデ  
ンサーを入れる回路が多くありましたの  
で、コンデンサーを入れてみたら、綺麗  
な音でモニターできました。(ヤッター)  
参考にしたインターフェース回路は右図  
の通りです。

次に、ユニバーサル基板を使い配線を行  
いました。

本体と接続する LAN コネクターのピンを  
基板に半田付けしようとした所、ピンが  
斜めに取付けられている為、ユニバーサ  
ル基板に上手く挿入出来ませんでした。  
仕方なく、LAN コネクターを逆にして、ケ  
ースの本体を半田付けして固定する事に  
しました。

配線は、ピンに直接半田付けをしました。  
抵抗が 2 個見えるのは  $10K\Omega$  と  $2.2K\Omega$  で  
変調の様子をみて変更する為のもので  
す。現状では  $10K\Omega$  が使用されています。  
SSB、FM、AM とともに問題無く動作している様  
で、QSO の変調レポートでは問題ありま  
ありませんでした。

両手が使えるので、ハムログを操作しながらの QSO にも便利です。



【正面の様子】電源プラグはダミー



【PTT スイッチ】トルグスイッチ



おわり